

## 上田女子短期大学第34回児童文化研究大会報告

日 時：平成23年 6月19日(日) 午前10時～12時

会 場：上田女子短期大学 北野講堂

講 演：子どもの発達に音楽療法を活かしてみよう

講 師：中嶋 彩さん(日本臨床心理研究所 音楽療法士)

### 講師紹介

神奈川県川崎市出身。

玉川大学文学部芸術学科卒業。

淑徳大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士前期課程修了。

音楽療法士、臨床心理士、臨床発達心理士

山梨県にある日本臨床心理研究所にて、音楽療法やプレイセラピー、カウンセリングを実践。健康科学大学非常勤講師、回生堂病院や地域療育等支援事業にて音楽療法や保育園や幼稚園へ巡回相談を実施。山梨県特別教育巡回相談員として学校訪問や山梨市学校教育課心理発達相談員他県内の市町村にて健診における心理相談や発達相談を担当するなど臨床や講演活動に取り組んでいる。

### 主な業績等

厚生労働省科学研究費(2007)における『ライフステージに応じた広汎性発達障害者に対する支援のあり方に関する研究』における研究協力、山梨県教育委員会による『山梨県早期総合支援モデル事業』(2007、2008文科省委嘱研究)のメンバーとして参加し、その後も継続し、就学に向けて保育園への巡回相談や教育相談を実施。

### 内容

平成23年度の児童文化研究大会は、日本臨床心理研究所の音楽療法士・中嶋彩氏を招き、講演会「子どもの発達に音楽療法を活かしてみよう」を開催した。

中嶋氏は音楽の持つ生理的、心理的、社会的な働きについて明快に説明された上で、音楽が諸感覚の統合的な活動であるゆえに、運動、認知、心理といったさまざまな面に大きな影響や効果を与えることを、ピアノや太鼓、カスタネット、タンバリンなどを実際に演奏されながら語られた。

中嶋氏は、研究所で音楽療法やプレイセラピー、カウンセリングの仕事をするとともに、地域療育等支援事業として、幼稚園、保育園、病院等への巡回相談(心理相談・発達相談)の活動にも携わっておられる。その豊富な経験と実績に基づいた、実に感動的な講演であった。

当日は、幼児教育・保育に関わる方々や本学卒業生の参加も非常に多く、参加者数は報道関係者も含め約180名であった。